

宇津木台 森遊会 実施報告

「第2回定例活動」

No.2015-02

実施日	2015年5月31日(日) 9:30~12:00	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 5名(男性2、女性3) 後藤、鶴田、徳田、矢島、大神田 インストラクター: 金森		

実施内容

活動5年目の第二回目。6月2日(火)に予定されている八王子市立石川中学校2年生約200名の総合的な学習の時間を利用した体験学習授業「八王子の身近な環境について知り、環境を守る活動をしている人々に学ぼう」の準備を行う。体験学習は、緑地の笹刈りを予定している。

オリンパス技術開発センター宇津木に10時に集合。中学校の今年の担当 大神田先生、昨年の担当 矢島先生に参加していただき、開会式の場所や流れを確認する。湧水の小川沿いに広がる笹エリアへ、昨年は笹エリア9区画、竹林エリア9区画としたが、反省を踏まえ、移動時間と見廻り易さのため、笹エリアだけで18区画に分割する。区画ごとに広さや笹の量を見ながら目印のテープを張ってゆく。

昨年、全て刈ったことにより、新しい笹や雑草は細く柔らかく、刈りやすい状態になっている。

周りに危険がないかも含めて2時間で作業は完了、雨の予報だったが晴れのまま無事完了した。

雨の予報だったため、昼食は準備せずにここで解散、その後、この時期にどうしても竹林エリアの竹や笹を皆伐しておきたかったのが、金森が2時間かけて作業した。葉が出て成長が完了する前のこの時期は柔らかく伐りやすい。そのまま放置すれば竹藪に戻ってしまい、作業が大変なため、皆伐を実行した。この作業を数年繰り返して、よい竹だけを残し、健全な竹林にしてゆく。



1年経つと笹や雑草が繁茂、しかし新しく柔らかいので刈るのは楽そうだ 18班分18区画をテープで作る 広さや刈る量に応じて区切る



およそ2時間の作業、ご苦労さま 午後は金森一人、竹林エリアで5月以降に出てきた竹や笹、約千本を皆伐、夏にもう一度皆伐が必要



やや太めの竹が4mほどになっていたのが、穂先だけを持ち帰り、疲れを癒した、穂先筍はエグミが少なく、この時期お勧めだ

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は発生なし。